

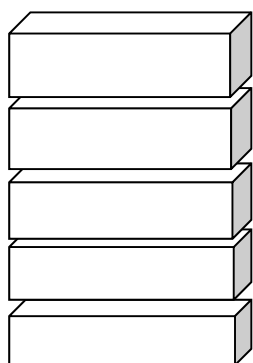
資産運用とは

～貯蓄と投資・運用の違い～

「運用」は資産を積極的に殖やす事を目的とするもので、「貯蓄」とはその性質は大きく異なります。

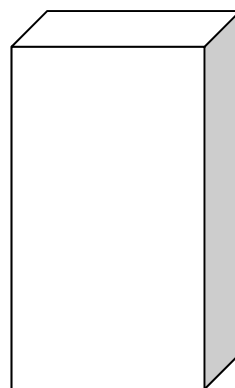
資産を殖やすにはリスクを取ることが必要です。リスクは資産が殖える可能性を意味し、リスクを取るけっかとしてリターンが得られるのです。

預貯金（貯蓄）



積み木を積み上げるイメージ

投資・運用



そのもの自体が成長する（殖える）

「貯蓄」とは

「貯蓄」は「貯めて蓄える」、つまり、将来の目的のためにお金を準備して使わないで持っておくことで、元本自体を増やす意味合いはありません。銀行や郵便局に預けることで、結果的に利子が付いているという感覚のものです。銀行の定期預金や郵便局の定期貯金、積立型の保険商品が貯蓄商品です。

「運用」とは

「投資」は「資産を投じる」、つまり、最初から資産を投じることでそこから発生する収益を期待する、投じた資産自体の成長を期待する行動で、根本的に「貯蓄」とは違います。当然積極的に収益狙いしますので、その反動、逆の、マイナスになることは覚悟のうえの行動となります。

運用する理由はその「利回り」の高さです。さらに、その利息が新しい元本となって運用する「複利効果」により資産は大きく殖えていきます。